

方団体が苦労いたしておりますのと同
じような結果が出て来るのじやない
か、そして結局は民間資金というものの
を再建整備資金としてあてにするとい
うことは、間違いであるというようす
私たちも考えております。

それから再建整備計画の承認と、地方債の許可についてであります。先ほどちよつとお答え申し上げましたように、國におきましても地方の團体の財政の再建という問題は、重大関心のないことではございませんし、もとより大蔵省が重大関心をお持ちになることは当然であると考えますが、その再建整備を行つて行きます過程におきましては、やはり基本方針については両者が緊密な打合せをするけれども、その細目まで打合せをするということは、両者が両方でタッチして行くということになると、地方團体によつては迷惑だといふように考えております。現在地方債の発行手続が基本方針だけを打合せて、細目は自治庁が専管するということになつておりますけれども、技術的点においておきましても、その点は非常に問題であります。そういう観点からいたしますと、ここのこところはよほどはつきりしておいていただきなければ、将来禍根を残すというふうに考えるのです。

れども、現在においてはさような状態でござります。

赤字の問題においてはさような状態でございます。

ろうと思えばできると思いますが、たゞ何分たくさん種類にわたります補助金でございますので、その計算した結果をまとめて幾らになるかといったようなことは、急には実は困難ではないかというように考えております。それから補助単価の問題は、やはりこれは現実にできないような単価でもつて、これを補助をするということ自身が、私たちは赤字の原因をつくつておるようになっております。地方制度調査会の答申におきましても、補助単価の寡少あるいは不足分といったようなものをもつて、赤字の原因として指摘しております。

それから第三点の起債でございますが、お説のように町村合併の進展に伴いまして、庁舎の起債の申請は非常に多く出て参つております。ただこれも御指摘のように本年度の地方債のわくは少いのでございまして、その間事務当局といいたしましては非常に苦慮いたしておりますのでありますけれども、その少いうちにおきましても、できるだけ町村合併に関連する地方債につきましては、優先的に取扱います方針のもとに現在査定事務を進めて参つております。それがもしできなかつた場合には、政府責任による赤字だということには、政府責任による赤字だといふ御質問でございますが、これは必ずしも一概にはそうは言えないのじやないか。全然認めないとすることになるならば、これはもとより政府の責任でございましようけれども、少くとも努力をしておるのでありますと、それがすべてそのまま政府の責任による赤字となつて現われて来るということは、私は言えないのじやないかというふうに考えております。

○床次委員 最近大蔵省においては、地方の財務局長を集めて、地方財政の状況を報告せしめておるということが新聞に出ておる。いろいろと地方の実情が報告されておりますが、地方団体の窮屈の度は昨年に比べて非常にはなはだしくなつておるということにつきましては、各地の各局長ことごとくそういう意見を述べております。しかしその原因の觀察につきましては、自治廳の見ておるところとなお相当開きがある。この点に関しましては自治廳としましても十分に事柄の徹底を求めるとか、あるいは同じ問題に対し両者が共同研究をしまして、なるべく早くこの赤字対策に対する共通の結論を得ることが、将来の問題の解決になるので、財務局長の意見等に関するところがりまするならば、局長会議の話題に対して、自治廳からも意見を聞きたいと思うのであります。

なおいすれにいたしましても、この窮乏地方団体に対しましては、あるいは融資の問題と申しますか、地方銀行からの借入金にしましても、そろ／＼困つて来るものが出て来るようを見るのであります。こういう問題に対して、当局としてはいかように考えておられるか。この機会に伺つておきた
い。

なお最後に要望しておきますことは、でき得る限り早い機会におきまして、再建整備が具体化するよう、両省の間におきましてもひとつ話を進めてももらいたい。そうして適当な機会にと申しますか、来るべき一番早い機会におきまして、これが立法化し得るだけの措置をひとつつくつておかれたいと思うのであります。いつまでも両省の意見の隔離によりまして、この問題が遷延して行くということは、私ははなはだ遺憾に思うのであります。この点至急調整に努められるよう、特にこの機会に要望しております。

○柴田説明員 大蔵省の財務局長会議におかれます地方財政の話題は、各局長がそれ／＼所管しております地域の地方団体の財政状況につきまして、発言をいたしておりますがござります。私たち実はその会議の席に連なつたわけでもございませんので、どういう発言がありましたか直接聞いたわけではございませんが、新聞等によつて承知しておりますところでは、なお若干事実と相違しておるところもあるようでございます。現に私たちのところへ参ります地方団体の事務当局者は、ああいう発言があつたけれども、あれは間違いであると、はつきり指摘しておるようであります。もとより正確な情報

現在私たちちはなお二十八年度の決算につきまして、各地方団体の報告を求めおりまして、近くまとまると思いまつたままでして、実情も調査いたしまして、赤字の現状と赤字の原因を分析して行くつもりでござります。

なお非常な赤字を出しております団体におきましては、御指摘のよう融資に非常に困つておる団体もござります。さような団体につきましては直接自治庁があつせんの労をとりまして、大蔵関係の資金当局に、具体的にお互いに話し合つて再建計画を立てて、そして融資をしていただくようあつせんをいたしております。将来も個々の団体につきましても、そのようなお世話を申し上げて行く両面、地方団体全体につきましても、昭和二十九年度の地方財政につきましては制度改正の趣旨を徹底いたしますとともに、節約と緊縮財政と申しますか、財政の規模の合理化等につきまして、遺憾のないよう措置をするようにといふ趣旨の指示をいたし、具体的に指導して参りたい、かよう考へております。

○加藤(精)委員 資料の提供をお願いしたい。それは、今のわが国の地方財政で、財政需要に対し財政収入が具体的に一番少いのが大都市の水道だと思ふのであります。そういう場合に飲料水に事欠くところや、それから大火が起つても火が消せないという危険状態にさらされておるところを第一位から第十位くらいまで、われく行政委員の行政視察の前に、ちよつと知らせていただきたい。それが一つと、第二はそれと同じように、火急な財政

を報告しておられるようあります。現在私たちはなお二十八年度の決算につきまして、各地方団体の報告を求めております。近くまとまると思いますが、その報告を検討し、また機会をつかまえまして実情も調査いたしまして、赤字の現状と赤字の原因を分析していくつもりでございます。

なお非常な赤字を出しております団体におきましては、御指摘のように融資に非常に困つておる団体もござります。さような団体につきましては直接貸付金をあつせんの労をとりまして、大蔵関係の資金当局に、具体的にお互いに詰合つて再建計画を立て、そして融資をしていただくようになつせんをいたしております。将来も個々の団体につきましても、そのようなお世話を申し上げて行く半面、地方団体全体につきましても、昭和二十九年度の地方財政につきましては制度改革の趣旨を徹底いたしますとともに、節約と緊縮財政と申しますか、財政の規模の合理化等につきまして、遺憾のないよう措置をするようにという趣旨の指示をいたし、具体的に指導して参りたい、

自治庁があつせんの労をとりまして、大蔵関係の資金当局に、具体的にお互いに詰合つて再建計画を立て、そして融資をしていただくようになつせんをいたしております。さような団体につきましては直接貸付金をあつせんの労をとりまして、大蔵関係の資金当局に、具体的にお互いに詰合つて再建計画を立て、そして融資をしていただくようになつせんをいたしております。将来も個々の団体につきましても、そのようなお世話を申し上げて行く半面、地方団体全体につきましても、昭和二十九年度の地方財政につきましては制度改革の趣旨を徹底いたしますとともに、節約と緊縮財政と申しますか、財政の規模の合理化等につきまして、遺憾のないよう措置をするようにという趣旨の指示をいたし、具体的に指導して参りたい、

かのように考えております。

○中井委員長 なお今加藤委員の御発言について、私からもちょっとと申し上げておきますが、この国会が終りますたら、本委員会の委員諸君は三班にわかれれて各地に視察に出られます。ついてはその視察につき、特に注意すべき問題、また自治庁として自治庁以外の手から調べてももらいたいと思うような点がありましたが、一日も早くその資料を添えて、委員の各位にお出しを願いたいと思います。

本日はこれをもつて散会いたしま

○中井委員長 なお今のが藤委員の御
発言について、私からもちよつと申し
上げておきますが、この国会が終りま
したら、本委員会の委員諸君は三班に
わかれて各地に視察に出られます。つ
いてはその視察につき、特に注意すべ
き問題、また自治厅として自治厅以外
の手から調べてでももらいたいと思う
ような点がありまして、一日も早く
その資料を添えて、委員の各位にお出
しを願いたいと思います。

本日はこれをもつて散会いたしま
す。

午後四時二十五分散会

地方行政委員會議錄第七十號中正誤
一〇三九知當 誤 相當 正